



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月11日

上場会社名 株式会社 リンガーハット

上場取引所 東 福

コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

平成29年11月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	22,762	6.6	1,410	4.0	1,370	6.8	631	29.4
29年2月期第2四半期	21,361	5.8	1,356	6.7	1,282	8.6	894	35.2

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 592百万円 (10.5%) 29年2月期第2四半期 662百万円 (4.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	25.38	
29年2月期第2四半期	42.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	32,000	19,350	60.5	777.76
29年2月期	33,192	19,005	57.3	764.63

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 19,350百万円 29年2月期 19,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		9.00		11.00	20.00
30年2月期		9.00			
30年2月期(予想)				11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	2.6	3,370	2.6	3,250	2.9	1,680	3.7	67.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	26,067,972 株	29年2月期	26,067,972 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	1,205,967 株	29年2月期	1,212,599 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	24,862,005 株	29年2月期2Q	21,269,014 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び10ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、穏やかな景気回復が続いているものの、国内の生活物価の上昇や海外における政治・経済の不透明感の増大などにより、引き続き不安定な状況にあります。

外食産業におきましても、他業種との顧客獲得競争の激化、原材料価格の上昇、人手不足を背景とする人件費及び物流費の上昇などにより、取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは野菜の国産化をはじめとした「食の安全・安心・健康」に取り組み続け、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めてまいりました。

国内の出退店につきましては、20店舗を出店し21店舗を退店いたしました。また、海外におきましては、2店舗を出店し1店舗を退店いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内742店舗、海外13店舗の計755店舗(内直営店舗540店舗、フランチャイズ店舗215店舗)となりました。

既存店の売上高につきましては、当社グループ全店舗の当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は102.7%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は227億62百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は14億10百万円(同4.0%増)、経常利益は13億70百万円(同6.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億31百万円(同29.4%減)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、平成29年4月より150gの牛肉を使用した新メニュー「牛・がつつりまぜめん」を販売、同年5月にはより美味しく改良した「赤」「白」2種類の冷やしちゃんぽんを期間限定で販売いたしました。

また、同年6月には2017年イメージキャラクターであるアイドルグループ「私立恵比寿中学」とのコラボレーション商品「冷やしちゃんぽんエビ」を期間限定で販売するとともに、キャンペーンCMをテレビ放映いたしました。

さらに、調理・サービスの質の向上を図るため、調理認定制度とサービス認定制度の展開を強化し、お客さま満足度向上に取り組んでまいりました。

なお、同年8月には昨今の原材料費及び物流費の高騰に対応するため、西日本エリア店舗において商品価格の改定を実施いたしました。

出退店につきましては、積極的なスクラップアンドビルドを実施し、国内ではショッピングセンターを中心に20店舗を出店し20店舗を退店、海外では2店舗(台湾台北市及びタイ国バンコク都)を出店し1店舗(タイ国シラチャ郡)を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で634店舗、海外で11店舗の計645店舗(うちフランチャイズ店舗197店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は102.7%となり、売上高は173億77百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は10億7百万円(同5.2%増)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」では、平成29年5月より「さっぱりとしたとんかつ」をコンセプトとして、紀州産の梅肉を使用した「梅しそ巻とヒレ膳」「梅しそチキンとあじふらい膳」、国産の本わさびを使用した「わさびおろしローズかつ膳」を期間限定で販売いたしました。

また、テイクアウト商品のお渡し後、約30分は温かくお召し上がりいただける弁当容器を開発するとともに、濱かつ自慢のとんかつをはじめ、エビフライやチキンなどを様々な盛り合わせた商品を開発・販売しお客様のニーズに応じてまいりました。

さらに、生産性向上と従業員の働きやすさ向上のため、一部店舗において業務の機械化を推進し、おかわりコーナーを設置いたしました。

出退店につきましては、1店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は国内で108店舗(卓袱浜勝を含む)、海外で2店舗の計110店舗(うちフランチャイズ店舗18店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は103.0%となり、売上高は52億88百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は2億95百万円(同3.7%減)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は10億81百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益1億29百万円(同19.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億92百万円減少し、320億円となりました。これは主に設備投資による現金及び預金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ15億37百万円減少し、126億49百万円となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億44百万円増加し、193億50百万円となりました。これは主に剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月14日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,906,956	6,511,685
売掛金	708,690	869,976
商品及び製品	97,644	108,733
仕掛品	21,333	19,940
原材料及び貯蔵品	229,574	303,657
前払費用	306,429	445,698
繰延税金資産	197,351	197,414
未収入金	651,373	900,058
その他	188,082	209,551
流動資産合計	11,307,438	9,566,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,211,427	9,671,897
機械装置及び運搬具(純額)	779,671	764,758
土地	4,820,693	4,823,093
リース資産(純額)	188,588	151,295
建設仮勘定	76,420	145,632
その他(純額)	766,674	836,752
有形固定資産合計	15,843,475	16,393,429
無形固定資産	387,997	356,519
投資その他の資産		
投資有価証券	877,071	899,499
退職給付に係る資産	78,305	84,935
差入保証金	1,090,097	1,093,659
建設協力金	123,215	112,138
敷金	2,526,549	2,541,233
繰延税金資産	690,995	673,556
その他	290,230	301,006
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	5,653,859	5,683,424
固定資産合計	21,885,332	22,433,373
資産合計	33,192,770	32,000,091

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	864,983	1,139,298
1年内償還予定の社債	236,000	216,000
短期借入金	2,100,000	775,000
1年内返済予定の長期借入金	1,197,775	1,056,729
リース債務	126,931	121,619
未払金	685,172	784,817
未払費用	968,985	1,164,243
未払法人税等	620,325	388,719
未払消費税等	277,421	218,696
株主優待引当金	82,780	85,828
店舗閉鎖損失引当金	15,667	21,342
販売促進引当金	4,529	3,587
資産除去債務	49,813	47,103
その他	389,895	541,834
流動負債合計	7,620,281	6,564,819
固定負債		
社債	996,000	888,000
長期借入金	2,116,105	1,655,819
長期未払金	428,041	442,720
リース債務	296,879	240,421
株式給付引当金	98,007	142,199
退職給付に係る負債	973,618	1,031,709
長期預り保証金	387,617	382,617
資産除去債務	1,172,958	1,209,688
その他	97,859	91,959
固定負債合計	6,567,086	6,085,134
負債合計	14,187,368	12,649,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	8,423,582	8,425,900
利益剰余金	4,079,005	4,405,887
自己株式	△2,810,407	△2,756,500
株主資本合計	18,694,943	19,078,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207,093	208,343
為替換算調整勘定	73,130	44,903
退職給付に係る調整累計額	30,234	18,839
その他の包括利益累計額合計	310,458	272,086
純資産合計	19,005,402	19,350,136
負債純資産合計	33,192,770	32,000,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	20,754,437	22,107,022
売上原価	6,767,331	7,335,145
売上総利益	13,987,105	14,771,876
その他の営業収入	607,174	655,182
営業総利益	14,594,279	15,427,058
販売費及び一般管理費	13,237,996	14,016,122
営業利益	1,356,283	1,410,935
営業外収益		
受取利息	2,514	2,327
受取配当金	13,816	7,202
為替差益	—	9,587
その他	22,827	7,978
営業外収益合計	39,158	27,096
営業外費用		
支払利息	38,495	19,949
為替差損	30,206	—
持分法による投資損失	7,395	24,571
その他	36,870	23,400
営業外費用合計	112,967	67,921
経常利益	1,282,473	1,370,109
特別利益		
投資有価証券売却益	201,123	9,999
収用補償金	21,166	—
受取補償金	—	30,000
その他	6,373	11,368
特別利益合計	228,663	51,368
特別損失		
固定資産除却損	1,235	75,527
店舗閉鎖損失引当金繰入額	14,372	15,403
減損損失	55,566	98,118
投資有価証券評価損	—	19,549
災害による損失	24,512	868
特別損失合計	95,687	209,466
税金等調整前四半期純利益	1,415,449	1,212,012
法人税等	521,297	581,000
四半期純利益	894,151	631,012
親会社株主に帰属する四半期純利益	894,151	631,012

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	894,151	631,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184,720	1,250
為替換算調整勘定	△23,979	△23,562
退職給付に係る調整額	△12,416	△11,395
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,688	△4,664
その他の包括利益合計	△231,804	△38,371
四半期包括利益	662,346	592,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	662,346	592,640
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,415,449	1,212,012
減価償却費	702,787	739,475
減損損失	55,566	98,118
のれん償却額	1,914	2,083
株主優待引当金の増減額(△は減少)	11,111	3,048
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,656	54,287
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△6,129	△6,630
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	10,050	5,675
受取利息及び受取配当金	△16,330	△9,530
支払利息	38,495	19,949
持分法による投資損益(△は益)	7,395	24,571
投資有価証券売却損益(△は益)	△201,123	△9,999
投資有価証券評価損益(△は益)	—	19,549
固定資産除却損	1,235	75,527
売上債権の増減額(△は増加)	△201,657	△144,323
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,550	△32,734
仕入債務の増減額(△は減少)	220,479	272,332
未払消費税等の増減額(△は減少)	△106,005	△63,068
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△355,372	△408,643
その他の流動負債の増減額(△は減少)	378,650	330,562
長期未払金の増減額(△は減少)	△8,379	△3,370
預り保証金の増減額(△は減少)	3,500	△5,000
その他	47,327	38,126
小計	1,990,068	2,212,021
利息及び配当金の受取額	14,775	8,335
利息の支払額	△38,139	△20,125
法人税等の支払額	△720,277	△798,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246,427	1,401,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,458,555	△1,281,124
有形固定資産の売却による収入	—	22,353
無形固定資産の取得による支出	△14,559	△4,100
建設協力金等の支払による支出	△157,770	△61,149
建設協力金等の回収による収入	55,362	79,920
投資有価証券の取得による支出	△1,283	△25,310
投資有価証券の売却による収入	1,029,501	10,000
子会社株式の取得による支出	△115,226	△101,605
その他	8,740	△21,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653,789	△1,382,908
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	470,000	△1,380,000
長期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△850,820	△636,274
社債の償還による支出	△128,000	△128,000
自己株式の売却による収入	2,154	—
自己株式の取得による支出	△1,190,134	△539
配当金の支払額	△153,168	△245,421
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△59,509	△61,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	△709,478	△2,452,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,047	△16,967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△130,887	△2,450,432
現金及び現金同等物の期首残高	1,711,400	8,906,956
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	55,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,580,513	6,511,685

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	16,044,628	5,176,882	140,100	21,361,611	—	21,361,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	870,455	870,455	△870,455	—
計	16,044,628	5,176,882	1,010,556	22,232,067	△870,455	21,361,611
セグメント利益	957,730	306,741	108,922	1,373,393	△17,110	1,356,283

(注) 1. セグメント利益の調整額△17,110千円には、セグメント間取引消去16,459千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△33,569千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は55,566千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	17,377,816	5,288,019	96,367	22,762,204	—	22,762,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	985,484	985,484	△985,484	—
計	17,377,816	5,288,019	1,081,851	23,747,688	△985,484	22,762,204
セグメント利益	1,007,489	295,426	129,709	1,432,626	△21,690	1,410,935

(注) 1. セグメント利益の調整額△21,690千円には、セグメント間取引消去15,210千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36,901千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は21,190千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は76,928千円であります。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成30年 2月期	売上高 (百万円)	14,743	5,560	20,304	4,878	919	5,798	443	220	26,765
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	448	197	645	92	18	110	—	—	755
平成29年 2月期	売上高 (百万円)	13,635	5,306	18,942	4,838	894	5,733	299	317	25,293
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	437	191	628	95	18	113	—	—	741
対前年比率	売上高	108.1%	104.8%	107.2%	100.8%	102.8%	101.1%	147.8%	69.3%	105.8%
	店舗数	102.5%	103.1%	102.7%	96.8%	100.0%	97.3%	—	—	101.9%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。